



誰もが安心して暮らせる地域づくりを目指して

第2次市地域福祉計画・地域福祉活動計画を策定しました

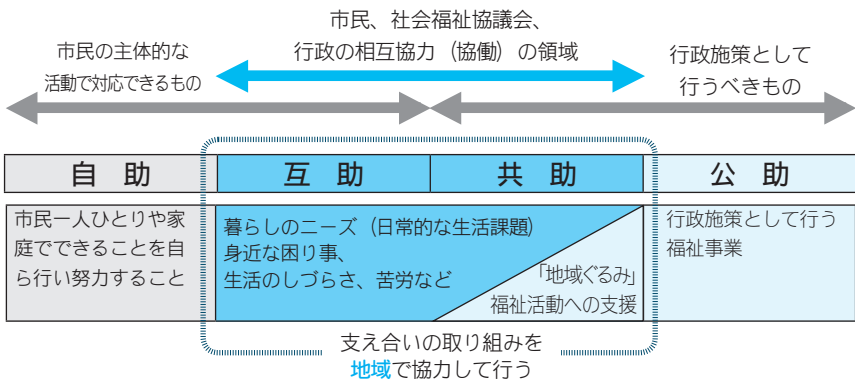
☎ 社会福祉課厚生班 ☎ (93) 4 1 9 2
FAX (93) 2 2 1 5

市基本構想における福祉分野の目標「手をつなぎ、みんなで目指す、明るく元気なまち」を踏まえ、市民や関係機関、団体、事業所、行政などが協働により、さらに効果的な地域福祉活動の推進を図るための指針として、平成 29 年度からの 5 年間における地域での支え合いづくりを紹介します。

地域福祉とは

近年の多様化・複雑化する福祉ニーズに対応し、「誰もが住み慣れた地域で安心して自立した生活が送れるよう、市民、福祉関係団体、社会福祉協議会・行政などが、助け合い・支え合いの取り組みを互いに協力して行い、幸せな生活を“地域”全体で推進していくこと」が『地域福祉』となります。地域福祉を進めていくためには、市全体で取り組むこと、地域で取り組むこと、市民が暮らす身近な地域で取り組むことなど、それぞれのエリアにおいて効果的な活動に取り組むことが重要となります。

地域での支え合いを築いていくための役割



協働のまちづくり

現在の地域社会の中には、日頃の生活の様々な場面で、何らかの問題を抱え、手助けを必要としている人がいます。また、生活様式の多様化やプライバシーへの配慮などから、住民相互の連帯感が弱まり、身近な交流やコミュニケーションが希薄化してきています。一方、少子高齢化が進んでいることにより、保健福祉に関するニーズも多様化してきており、市民誰もが地域において安心して充実した生活を送るためには、地域において支え合い、助け合う力を高めていく取り組みが一層大切になっていきます。

さらに、ひきこもりや子育て家庭の孤立、貧困の拡大といった新たな地域課題も発生しています。こうした様々な問題を解消するべく、地域福祉推進の仕組みの構築や、市民や地域の取り組みの方向性を示す行政計画である「地域福祉計画」と、社会福祉協議会の取り組みや市民や地域との取り組み、地域ごとのアクションプランを実行していく社会福祉協議会が策定する「地域福祉活動計画」を一体的に策定しました。この2つの計画は、地域福祉を推進する車の両輪であり、地域の支え合いを構築するため「自助」「互助・共助」「公助」によりお互いに力を合わせることで、さらなる地域福祉の推進を図るものとなっています。

基本理念

手をつないで広げよう！
助け合い・支え合いの輪

計画の方向性

計画の基本理念に基づき、市民、福祉関係者や行政が共に考えて行動することで、よりよい福祉サービスを提供するとともに、安心して生き生きと暮らせるまちづくりを進めます。

目標 1 ふれあい・支え合い活動が実践できる環境づくり

▶ 浩養地区社会福祉協議会
世代間交流 行くとほ作り



今の地域でのつながりを大切に、地域で助け合い、支え合える地域づくりを目指します。そのために、子どもからお年寄りまで、あらゆる世代が地域でふれあい、交流することができるよう、地域活動の場や機会の提供に努めるとともに、各種活動が活発化するよう支援します。また、困難を抱えている人が孤立することがなく、支援につなげることができるよう、市民同士の関係づくりや地域に支え合いの仕組みの構築を図ります。

- ① 地域交流の場をつくる
- ② 地域活動をひろげる
- ③ 地域コミュニティをはぐくむ

目標 2 安心・安全な暮らしを守る支援

誰もが住み慣れた地域で、安心・安全に暮らし続けられる地域づくりを目指します。そのために、緊急時を見据えた防災体制の強化を図るとともに、防犯や交通安全対策の推進による市民の防犯・防災に対する意識の醸成と地域全体の安心・安全の確保に努めます。

さらに、一人ひとりが元気に明るく、快適に暮らし続けることができるよう、主体的な健康づくり・生きがいづくり活動などを促すとともに、生活環境の向上に取り組めます。

- ① 地域の連携体制を強化する
- ② すこやかでうろおいのある生活を実現する
- ③ より快適な住環境をととのえる



▲ 日吉台地区社会福祉協議会
「地域合同清掃活動」

目標 3 地域福祉推進体制の強化

地域に住む全ての市民が、福祉は全ての人に関わる問題という認識を深め、地域福祉の担い手として活躍できる地域を目指します。そのため、福祉教育の推進や人権意識の啓発により、子どもから大人まで、幅広い層に対して福祉意識の向上に努めるとともに、リーダーやコーディネーターなど、地域で中心となって活躍できる人材育成や活用を推進します。

また、社会福祉協議会や地区社会福祉協議会、民生委員・児童委員など、関係組織との連携を充実し、福祉ネットワークの形成を図るなど、地域福祉推進体制の強化に努めます。

- ① 福祉意識を醸成する
- ② 地域を引っ張る人を育てる
- ③ 福祉ネットワークをつくる



▲ 地区社会福祉協議会合同で支援
「富高子育てサロン」

目標 4 多様な福祉サービスの充実

全ての市民が豊かな暮らしを送れるよう、制度の「狭間」にいる人も含め、支援を必要とする人が適切な福祉サービスや支援につなげることができる地域を目指します。そのため、公的な福祉サービスの質の向上を図るとともに、地域におけるインフォーマルサービスなどを含めた、多様な形態の福祉サービスの提供に努めます。また、福祉に関する相談窓口の強化や情報提供体制の整備を図り、地域における福祉ネットワークの構築に努めます。

- ① 福祉サービスを充実する
- ② 適切な情報提供・相談支援を行う